

決算特別委員会環境厚生分科会

H 2 7 . 7 . 2 8 (火)

午後 3 時 5 5 分 ~

場所：第 3 委員会室

- 1 開 会
- 2 事務事業評価対象事業の選定
- 3 その他

決算事務事業評価に向けて

目的

事業の問題点を明らかにし、行政側に次年度予算において反映をさせること。

事業選定について

(留意点)

抽象的な議論、結論で終わらないよう、具体的な事務事業レベルで選定する。

対象とすべき事業

- ・ 市民の関心が高い、市民生活と密接した事業。
- ・ 今後も継続予定の事業で、目的に対する成果が見えにくいもの。
- ・ 市民ニーズの変化等に対応して、新たな視点を導入して改善すべき事業。
- ・ 民間、国、府が行う他の事務事業と事業目的や成果が重複しているもの。

明確な理由がない限り対象外とすべき事業

- ・ 小規模な事業
- ・ 一般財源の割合が少ない事業（国・府補助事業など）
- ・ 今後終了を予定している事業
- ・ 新規事業で成果がまだ表れていないと判断し得る事業
- ・ 法定受託事業や一般管理経費など

具体的な問題点を提示して、事業選定を行うこと。

過去の評価結果

【平成26年度審査（平成25年度決算）】

浄化槽設置整備事業		継続（改革改善）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設置基数に対する実績は。 ・上乘せ補助による効果は。 ・現状のままで目標が達成できるのか。 ・今後の事業展開や方向性は。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度決算においては予算額と決算額とのかい離が大きく、改善が望まれる。 ・今後は第5次亀岡市生活排水処理基本計画に基づき、目的及び効果を市民に周知し、適切な目標設定と予算化を行い事業促進に努められたい。 ・目的である公共用水域の水質汚濁防止、快適な住環境整備を目指した事業手法については、市の関与の仕方を含め検討が必要である。 	
こども医療費助成経費		継続（拡充）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校就学から中学校卒業までの通院助成について、実績と目的に沿った事業の方向性は。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・国や府に要望を行い財源確保に努め、子育て支援策として中学校卒業までの通院無料化（現物給付）を目指した事業の拡充に努められたい。 	
地域生活支援事業		継続（拡充）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・業務委託の具体的な内容について 委託先と情報を共有して連携ができているのか。 ・地域に障害者の人がどれだけいて、支援の必要な人に広く十分な施策が行われているのか。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・委託先と情報共有を行い、必要な人に必要な支援ができるよう、支援の内容を明らかにして施策の充実を図られたい。 	

【平成25年度審査（平成24年度決算）】

アユモドキが棲み続ける環境保全事業		継続（拡充）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・アユモドキ保全協議会補助金50万円で目的は達成できているのか。 ・委託業務の委託先や具体的な調査結果について、外来魚駆除の減少効果と更なる対策、生態に適した環境とはどんな所で、どういう改善が必要なのか、調査結果がどう活かされているのか。 ・アユモドキが棲み続ける環境保全を本市でどう作り出すのか。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・連携を強化し、国・府の関与が拡大されるよう努められたい。 ・「攻めの保全」に努められたい。 	
ごみ減量・資源化等推進事業		継続（改革改善）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・生ごみ処理機等補助金の有効性について、活用状況と費用対効果や効果の測定方法は。 ・クリーンかめおか推進会議に対する補助内容と減量化資源化効果は。 ・ペットボトル拠点回収の取組結果、今後の事業展開や方向性は。 ・集団回収報奨の資源化効果は。 ・資源化委託業務の資源化効果は。 ・生ごみ減量化の状況と他の処理方法との比較は。 ・新たなごみ分別拡大、資源化についての検討調査結果は。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識の向上を目指す啓発に、より一層努められたい。 ・分別収集の拡大に努められたい。 ・成果の取り方について改善を求める。 ・クリーンかめおか推進会議のあり方を見直し、市民参画の工夫を図られたい。 	
高齢者生活支援経費		継続（改革改善）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし高齢者の安心、自立の在宅生活への効果は。 ・利用が少ない理由や、利用者数が減少している事業について減少した理由は。 ・個々の事業は実態に合っており、サービスは広く公平か。 	
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・制度広報に努められたい。 ・利用ニーズの把握に努められたい。 ・利用増進が図られる事業メニューの見直しを検討されたい。 	
地域包括ケア推進事業		継続（拡充）
論点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアの仕組みにおいて、利用者は広く公平なものであるのか。 ・事業内容や実態について、目的に沿った費用対効果はあるのか。 ・今後の事業展開や方向性はどうか。 	
意見	<p>今後は、得られたデータを活かして積極的に次の展開を検討されたい。</p>	

【平成24年度審査（平成23年度決算）】

こども医療費助成経費		拡 充
意 見	国の制度を鑑み、子どもの医療費助成制度の拡充を求める請願（H22年12月定例会採択）の趣旨実現に向け拡充を図られたい。	
老人生きがい対策経費		継 続
意 見	なし	
公立保育所運営経費		改 善
意 見	各公立保育所の課題については十分検討し、公立保育所（再編）整備計画策定のなかで改善を図られたい。施設の修繕については、工法、器具を再点検し進められたい。	

【平成23年度審査（平成22年度決算）】

収納率向上特別対策事業費（国民健康保険事業特別会計）		改 善
意 見	未納徴収専門嘱託職員への研修の強化、特に被保険者が納付しやすい方法を提示できるような能力の向上を目指すことが望まれる。また、若年層への啓発の強化にも取組まれたい。	
火葬場等経費		継 続
意 見	実業務に従事する職員の職務態度、接遇等は市民から評価する声を聞いている。非常勤職員として雇用されている火葬場職員の待遇改善を求めるとともに、身分保障の観点を含めた雇用形態の研究を進めることを望むものである。	
ごみ減量・資源化等推進事業経費		改 善
意 見	<p>焼却施設及び最終処分場の延命化等の観点から、ごみ減量・資源化の取り組みは効果を有する。しかし、分別項目を増加させ、分別、回収、処理に対して経費を含む多大なコストを要することとなった場合、総合的な見地からは市民の負担を増加させる懸念もある。以下の点に留意し改善に取組まれたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分別基準の分かりやすい広報 ・プラスチック系ごみを分別した場合の再利用の研究 ・事業者との連携による発生抑制の推進 	
最終処分場維持管理経費		拡 充
意 見	<p>施設の適切な維持管理に努めるとともに、施設の新規設置には多くの労力と経費を要することから、延命化の取り組みが重要である。以下の点に留意し施設延命化に積極的に取組まれたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画に対する現在の埋立状況は市民の協力により実現されたものであることから、延命化の効果について市民協力の観点から広報すること ・延命化に向けた数値目標の設定 	

社会福祉協議会経費		改善
意見	<p>社会福祉協議会は行政制度の谷間を埋める重要な役割持つ民間団体であり、本経費による人件費補助のみではなく事業全体で評価することが適切であったと思われる。以下の点に留意され取組まれたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会の独自職員としての人材育成に努められたい ・市民目線での分かりやすい事業広報を望む 	
シルバー人材経費		改善
意見	<p>高齢化社会の進展に伴い、高齢者の就業機会確保の点でセンターの役割は重要度を増している。設立当初に比して自立度が高まっており、今後一層の自立を促すために、資金面以外に事業手法の指導等にも力を注ぎ、センターが行う事業内容の拡大等に努められたい。</p>	
障害者福祉サービス事業経費		継続
意見	<p>障害者自立支援法に基づく事業内容であるが、事業の利用を促進し、利用者の利便を図るために他の一般施策の充実を含め総合的に取組まれたい。</p>	
私立保育園保育委託経費		継続
意見	<p>保護者の保育料負担を軽減するため、国の基準を上回る措置がされており評価できる。以下の点に留意され取組まれたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者負担に係り、公的保育の面から市内保育園の統一性も重視すべき 	
予防接種経費		継続
意見	<p>予防接種法に基づく定期予防接種については丁寧な通知等に継続して取組まれたい。また、任意予防接種については、接種率向上を目指し広報の充実に取組まれたい。</p>	
保健事業経費		改善
意見	<p>夢ビジョンにおける目標（がん検診受診率50%）について、本市では把握できない数値を目標としていることから、市で評価できる独自の数値目標等の設定も必要と考えられる。また、受診率向上目指し、検診による健康上の効果など直接的な動機となる広報を望む。</p>	